

2016年7月16日（土）13:00～16:00 名城大学天白キャンパス共通講義棟南 S-101 教室にて、日本建築学会東海支部構造委員会主催の講演会が実施された（後援：名城大学・NDRR）。研究者・技術者 74 名、学生 35 名の合計 109 名が参加する盛況な講演会となった。

最初に日本建築学会（以下 AIJ）東海支部構造委員会委員長の武藤厚先生より講演者の紹介および主旨説明がなされた。

講演は最初に吉田城本丸御殿の復元について、加藤紘三先生（吉田城復元築城をめざす会・理事）にご講演頂き、本丸御殿図面の考察と復元提案図面、天守閣の模型作成や吉田城主などの話題提供を頂いた。次に、山口遥介先生（岡崎市教育委員会）からは、最近発見されて話題となっている岡崎城跡菅生川端石垣の発掘調査について、発掘前後の写真や歴史的資料を用いて、石垣城壁の発掘の重要性・技術的課題・意義などについてご説明頂き、今後の活用への試みについてもご講演を頂いた。最後に片岡靖夫先生（中部大学名誉教授）から、木造天守閣の構造と復元についてご講演いただき、名古屋城木造天守閣の構造的長所、石垣形状に関する推察、木造天守閣復元に伴う材料調達、長期実測調査の必要性などについてご講演を頂いた。また、ご講演の途中には、協力者の川地正数先生（川地建築設計室）により名古屋城全体や木造天守閣の再現 CG が示され、参加者の興味を引いていた。なお、会場には名古屋城から運び込まれた名古屋城天守閣模型が展示され、休憩時間や講演会終了後などに参加者が熱心に写真撮影をしたり、製作者である片岡先生に質問されていたりと、参加者にとっても良い機会となった。開催にあたり、名城大学理工学部後援会にもご援助頂いた。

■主旨：名古屋城天守閣の木造復元が話題となっている。同時に耐震性能・耐火性能の確保は必須の課題である。本講演会では技術的な観点から、木造天守閣の構造について知見を得、情報交換を行うことを目的とする。本講演会は日本建築学会(AIJ)・東海支部・構造委員会が主催し、名古屋城を始めとして木造復元がなされた大洲城（愛媛県）、検討中の小田原城（神奈川県）について専門家の先生によるご講演を頂き、愛知県内の吉田城の城郭建築や最近発見された岡崎城の石垣についての話題提供も行う。

■講演内容：

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| ・吉田城の復元について | 加藤紘三（吉田城復元築城をめざす会・理事） |
| ・岡崎城跡菅生川端石垣の発掘調査について | 山口遥介（岡崎市教育委員会） |
| ・木造天守閣の構造と復元について | 片岡靖夫（中部大学名誉教授） |



講演会の様子



名古屋城天守閣模型



武藤厚 先生



加藤紘三 先生



山口遥介 先生



片岡靖夫 先生



川地正数 先生